

様式（評価機構フォーマット版）

平成27年度
自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

平成29年2月12日現在

平成29年2月12日

中和医療専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価	1	基準4 学修成果	24
基準1 教育理念・目的・育成人材像	2	4-13 就職率.....	25
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	4-14 資格・免許の取得率.....	26
基準2 学校運営	5	4-15 卒業生の社会的評価.....	27
2-2 運営方針.....	6	基準5 学生支援	28
2-3 事業計画.....	7	5-16 就職等進路.....	29
2-4 運営組織.....	8	5-17 中途退学への対応.....	30
2-5 人事・給与制度.....	9	5-18 学生相談.....	31
2-6 意思決定システム.....	10	5-19 学生生活.....	32
2-7 情報システム.....	11	5-20 保護者との連携.....	33
基準3 教育活動（本科・専科）	12	5-21 卒業生・社会人.....	34
3-8 目標の設定.....	13	基準6 教育環境（本科・専科）	35
3-9 教育方法・評価等.....	14	6-22 施設・設備等.....	36
3-10 成績評価・単位認定等.....	15	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	37
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	16	6-24 防災・安全管理.....	38
3-12 教員・教員組織.....	17	基準6 教育環境（柔整）	39
基準3 教育活動（柔道整復科）	18	6-22 施設・設備等.....	40
3-8 目標の設定.....	19	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	41
3-9 教育方法・評価等.....	20	6-24 防災・安全管理.....	42
3-10 成績評価・単位認定等.....	21	基準7 学生の募集と受入れ	43
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	22	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	44
3-12 教員・教員組織.....	23		

7-26	入学選考.....	45
7-27	学納金.....	46
基準 8	財務.....	47
8-28	財務基盤.....	48
8-29	予算・収支計画.....	49
8-30	監査.....	50
8-31	財務情報の公開.....	51
基準 9	法令等の遵守.....	52
9-32	関係法令、設置基準等の遵守.....	53
9-33	個人情報保護.....	54
9-34	学校評価.....	55
9-35	教育情報の公開.....	56
基準 10	社会貢献・地域貢献.....	57
10-36	社会貢献・地域貢献.....	58
10-37	ボランティア活動.....	59

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成27年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>本校の教育目標は次の通りである。</p> <p>(1) 人間としての人格の完成をめざす。</p> <p>①人の心の痛みを理解し何事にも最善を尽くす誠実な心を育てる。</p> <p>②和と寛容の心を養い・助け合い・互いにライバルとして切磋琢磨できる人間関係を作る。</p> <p>③機会をとらえて教養を高め、他人から信頼され尊敬される態度を養う。</p> <p>(2) 施術者として勉学に励み技術向上に努める。</p> <p>①研究心を培うため、常にテーマを持ち、基礎的・臨床的な研究の発表を行える能力を育む。</p> <p>②技術によって立つ臨床家の育成をめざし、技術教育の充実を図る。</p> <p>③入学者全員の卒業と国家試験の全員合格をめざす。</p> <p>(3) 社会性のある施術者の育成</p> <p>①東洋医学の奥義を究めつつ、東洋療法を確たる不動の信念を持った治療法として専念できる人材を育てる。</p> <p>②さまざまな情報・知識を駆使して自己の健康管理さらに地域の人々の健康維持・増進に役立てる人材を育てる。</p> <p>③専門の学会や諸団体との連携を取りながら卒業後もその分野の発展に寄与できるよう努める人材を育てる。</p>	<p>施設備品の整備充実として学生の学習環境の向上を目的とした60周年施設整備事業を遂行する。</p> <p>入学生の確保の一環として今年度は学校案内・募集要項の全面改定を行う。</p> <p>学科及び実習内容の充実として年に数回、専任教員と講師とが一堂に会した打合せを行う。</p> <p>国家試験対策として資格取得が至上命題である専門学校であるゆえ、学生全員合格のための対応策を図る。</p> <p>就職対策として学生の多様化するニーズに応えるべく企業説明会を実施し、併せて企業のニーズに応えるべく企業訪問を実施する。</p> <p>地域貢献として私学をよくする愛知父母懇談会の集いである輝良ッ都フェスティバルに協賛するとともに、各種ボランティア活動へも取り組む。</p> <p>経費削減の取り組みとして教職員へ打合せ等を実施し啓蒙を図る</p>	<p>60周年施設整備事業は平成27年11月22日の竣工式・内覧会を執行したことで完了した。</p> <p>入学生の確保はさらなる改善が必要である。</p> <p>学科及び実習内容の充実は図られている。</p> <p>国家試験対策はさらなる改善が必要である。</p> <p>就職対策は概ね達成された。</p> <p>地域貢献は概ね達成された。</p> <p>経費削減の取り組みは概ね達成された。</p>	<p>本校 Web サイトの改良を行い、さらなるアピールが必要である。</p> <p>入学生の確保については社会ニーズに対応できる医療人の育成と、学園の理念を教職員間で有機的に共有するシステムの構築が必要である。</p> <p>学生の学力格差の是正対策と退学者対策が必要である。</p> <p>卒業生の動向把握と企業ニーズを教育内容に還元することが必要である。</p> <p>地域貢献を本校 Web 上でわかるように公表することが必要である。</p> <p>単年度の重点目標、中長期の重点目標を提示して教職員間で共有することが必要である。</p>

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では「医学的知識に偏らないで、医療人として人格の形成と、臨床現場に対応できる基礎技術の修得に力を注いでいくことが大切である」を建学の心とし、医療人の育成に努めている。</p> <p>本校の目的については学則第3条により「あん摩サッサージ指圧師、はり師及びきゅう師、柔道整復師に係る学校養成施設認定規則（指定規則）に従い、有能なあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師、柔道整復師に関する専門知識及び技能を修得させ、有能なあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師、柔道整復師を養成すること」と定めている。これらの達成のために、講義、実習を通じて次の教育目標を掲げている。</p> <p>(1) 人間としての人格の完成をめざす。 (2) 施術者として勉学に励み技術向上に努める。 (3) 社会性のある施術者の育成。</p> <p>これらの教育理念、目的、人材育成像について、生徒便覧、学校案内、本校 Web ホームページ上にて情報を発信し、学内外に広く周知されるように努めている。</p>	<p>本校は昭和 33 年 7 月に、名古屋市中村区稲葉地に中和理療学校として開設された。</p> <p>以来「臨床現場に対応できる医療人を育成する」を建学の心として卒業生を世に送り続けてきた。</p> <p>昭和 51 年には校名を中和鍼灸専門学校と改称、昭和 58 年 4 月に学習環境の向上を目的に学校施設を稲沢市に移転させた。</p> <p>また臨床教育を充実させるため昭和 63 年には附属治療所を開設し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師育成のための実践教育を学生に体現させてきた。</p> <p>平成 12 年、豊かな人間性と確かな技術を持った、社会から要請される柔道整復師を養成するため、これまでのあん摩マッサー指圧科、はり・きゅう科、あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう科に加えて、柔道整復科を開設し、併せて学校法人葛谷学園・中和医療専門学校へと改称した。</p> <p>中和医療専門学校の学生には校名の如く「中庸の精神」が脈々と受け継がれ、「人と人の関わりを大切にすること」を教職員とともに共有し、日々研鑽に励み、医療に携わる者としての自覚をもって、人格の向上と知識・技術の修得に努めることが求められている。</p>

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	楠本 高紀
--------	------------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	本校は医療人を養成することから、その理念、目的、育成人材像は解りやすい表現で明確に定められるべきである。	生徒便覧、学則第3条に明確に定めている。		中和医療専門学校生徒便覧 中和医療専門学校 Web ページ
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	育成人材像は時代が変わろうとも変化することではないが、業界等の人材ニーズは関係団体と定期的な協議を行うことが重要である。	学内の専任教員及び講師と定期的に授業内容について協議を行っている。	教育計画（シラバス）等の策定において関連団体等の代表者等と定期的に協議を行い、時代に適した教育内容を検討していく必要がある。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	カリキュラム及び授業内容の変更を適宜実施しなければならない。	正課外授業を設定し、各講師を招聘している。	卒業後の進路を開業中心から医療関連及び介護関連施設での活躍を視野に入れた教育課程の編成が必要である。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	学生の学習環境向上の視点から60周年施設整備事業を遂行する。さらに社会ニーズに対応できる医療人、教育者を育成するとともに、鍼灸師・柔道整復師養成校としてリーダー的地位を築く。	60周年施設整備事業は平成27年11月22日の竣工式・内覧会を執行したことで完了した。	年々学生確保が非常に厳しい状況となっている。優秀な学生の確保に主眼をおいた中期計画の策定と長期構想が必要と考えている。	平成27年度事業報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の教育目標は、明確に定められたうえで、本校 Web ページ、生徒便覧等により学内外に周知されている。特に新入生については入学後のオリエンテーションで数時間をかけて教育目標から3年間の学習環境等についてまで説明して本校での生活方法を周知させている。	

本校では充実した臨床実習ができるよう附属治療所及び附属接骨院で充実した臨床教育を行っている。解剖見学実習や正課外の講座も設定して教育内容の充実に努めている。

新施設整備事業は完了したことにより、今後は学園の中長期計画構想について学内で目標を定めて取りくむことが必要とされる。

最終更新日付

平成 29 年 2 月 12 日

記載責任者

楠本 高紀

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の運営方針は、学則第3条に規定する目的を達成することができるよう、各学科や各部署に於いて検討された事業計画や予算を精査し、理事会及び評議員会で決定される。</p> <p>事業計画・予算については、毎年10月頃から翌年度の事業計画策定及び予算の検討を各学科ごとに各部署に於いて検討を始める。</p> <p>各部署により検討された各部署ごとの計画及び予算案は、各学科ごとの職員会議にかけられ、承認を得た後、理事会及び評議員会に上程される。</p> <p>事業計画・予算は、12月に行われる評議員会及び翌1月に行われる理事会において、学則に定めた目的等を含め総合勘案し決定される。</p> <p>意思決定については、理事会等の決定だけでなく、各部署から事業計画に基づき起案されたものについては各学科長から、校長や事務局長を通して常任理事会に諮られ決済をしている。</p> <p>運営組織については、学園就業規則、組織図及び職務分掌表により運営している。学校運営に関わる問題点については職員会議・各種委員会等で検討し、学校法人としての意思決定が必要な場合には、常任理事会、更には理事会等に上申することもできるようになっている。</p> <p>人事制度については、学園就業規則において一通り明文化されている。</p> <p>情報システムについては、常勤の教員・職員はすべて専用のパソコンを持ち、LANシステムにより情報の共有や効率化を図っている。</p> <p>事務局においては、学籍管理・給与・経理及び一般事務においてパソコンを利用しているが、セキュリティ確保のため、学籍管理用（3台でLAN）、給与計算用1台、経理用1台は独立しており、他からのアクセスはできないようになっている。</p>	<p>事業計画や予算等については、現場である各部署に於いて検討し発案したものを職員会議に於いて審議の上、理事会及び評議員会に掛けるかたちになっており、現場の実情・意見が反映されたものとなっている。</p> <p>その他の経常的でない事項が生じた場合にも、現場である各部署の起案により各学科長から校長、事務局長を通して常任理事が判断し決済をしており、現場の実情・意見が反映されたものとなっている。</p>

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	森 輝久
--------	------------	-------	------

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	各学科ごとに取りまとめられた事業計画や予算案を理事会及び評議員会において学則第3条に規定する目的等を総合勘案し決定することで、理念に沿ったものとなるようにする。	毎年度、事業計画や予算案を各学科ごとに取りまとめ、理事会等において学則に定めた目的等を含め総合勘案し決定している。	年度ごとに検討されており、中・長期的な運営方針については確定されたものとして明文化されたものがないので、今後検討していく必要がある。	職員会議議事録 理事会及び評議員会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度、各学科ごとに取りまとめられた事業計画や予算案を理事会及び評議員会において学則第3条に規定する目的等を総合勘案し決定することで、理念に沿ったものとなるようにしている。これは、年度ごとに検討されており、中・長期的な運営方針については確定されたものとして明文化されたものがなく、今後検討していく必要がある。	

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	森 輝久
--------	------------	-------	------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	現場の意見が反映されるよう、各部署ごとに検討し予算要求等を行うようにする。	事業計画や予算の原案を各部署ごとに検討し、職員会議において取りまとめ、理事会等において学則に定めた目的等を含め総合勘案し決定している。	現場の教員と理事等の考えが必ずしも一致するとは限らず、十分に理事等と教員とで話し合う必要がある。	職員会議議事録 理事会及び評議員会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
事業計画や予算の原案を各部署ごとに検討し、職員会議において取りまとめ、理事会等において、学則に定めた目的等を含め総合勘案し決定していく方法は、現場の意見が反映されることとなり、実際の運営においても有意義なことであるが、現場の教員と理事等の考えが必ずしも一致するとは限らず、十分に理事等と教員とで話し合う必要がある。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	森 輝久
--------	------------------	-------	------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	法人の組織運営は、寄附行為に定められた通りを行う。	理事会は通常の会議を年6回、評議員会は年2回開催している。その他必要に応じて臨時会を開催している。 開催毎に議事録を作成している。 寄附行為の改正は、寄附行為の改正規程に基づき行っている。	寄附行為の規程通りに行っている。	寄附行為
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学園就業規則、組織図及び職務分掌図により、教育目標が達成できるよう各部署の役割分担や各種委員会等を組織し、学校運営を行う。	組織図及び職務分掌図を作成し、役割分担を明確にしている。また、職員会議や各種の委員会を設置し様々な事項について検討をし、学校運営を行っている。 職員会議は定例会が月1回、必要に応じ臨時会を開催している。 各種委員会も必要に応じ、随時開催している。	運営を行う為の組織図及び職務分掌図はあるが、細部にわたり規定した組織規定や委員会規程がないので、それらの整備をする必要がある。	学園就業規則 組織図及び職務分掌図 職務分掌表（事務局）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会及び評議員会は寄附行為に基づき規程通りに行われている。 組織図及び職務分掌図を作成し、学校運営を行っている。また、職員会議や各種の委員会を設置し様々な事項について検討を行っている。 細部にわたり規定した組織規定や委員会規程がないので、それらの整備をする必要がある。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	森 輝久
--------	------------------	-------	------

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	学園就業規則、給与規程に基づく。	教職員の採用は、必要に応じ教員養成校等に対し求人を行う。 給与・昇給については給与規程・俸給表に基づき支給している。 人事考課については、業務評価基準にもとづき年度末に評価を行っている。	教職員の採用は毎年あるものではなく、必要に応じ行われるため、中期的採用計画等を設定することが困難であり、明確な採用計画がとられていない。	学園就業規則 給与規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就業規則等の規程が整備されており、規程に基づいて実施されている。 中期的な採用計画が、明確な形では確定されていない。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	森 輝久
--------	------------------	-------	------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	案件により、各部署・委員会内で決定するもの、職員会議で決定するもの、校長・理事長等の決済を要するものなどに分けて対応する。	意思決定については、各部署で決定できる軽微なものについては、各部署で行い、重要なものについては各部署・委員会検討した後、職員会議で決定する。さらに重要なものについては、職員会議を経たのち、校長・理事長等の決済を受ける。	就業規則や内規(物品の購入に関する内規など)など個別のものはあるが、意思決定のルールを明確にした単独の、あるいは総括した意思決定規程はなく、今後検討していく必要がある。	学園就業規則 物品の購入及び金銭の受入並びに支出に関する内規

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
案件により、各部署・委員会内で決定するもの、職員会議で決定するもの、校長・理事長等の決済を要するものなどに分けて対応している。 意思決定についての明確なルールづくりが今後必要となる。	

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	森 輝久
--------	------------	-------	------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか	情報システム化により業務の 効率化をはかる。	常勤教職員は1人1台ずつ の専用パソコンを持たせてい る。ネットワークでつなぎ、情 報の共有化なども行っている。 事務局においては、学籍管 理、給与管理、経理についても 専用ソフトを導入し利用して いる。また、セキュリティ確保 のため、業者に依頼しシステム を構築している。	非常勤教員が使用できるパ ソコンの台数が限られている。 学生の使用出来るものが、研 究室の研究用パソコンのみで ある。例えば就職用に最新の就 職情報を閲覧できるようにキ ャリアセンターにパソコンを 置き学生が自由に閲覧できる ようにする。また、データ管理 は事務室のパソコンでできる ようネットワーク化すること など、学生への情報提供にも、 今後力を入れていく必要があ る。	システム構成図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職員室・事務室内での情報システムはほぼ確立されている。 学生を対象とした情報提供のための情報システムはまだ整備されておらず、 今後の検討課題である。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	森 輝久
--------	------------------	-------	------

基準3 教育活動（あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう科、はり・きゅう科）

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、さらに、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係わる学校養成施設認定規則に従い、有能なあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師を養成するという目的に基づき教育活動を行っている。</p>	<p>本校の教育活動の特徴としては、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうという手技による技術的な専門分野が多いため、教育活動の中には、これらのスキルアップを目的としたより多くの実習内容が盛り込まれた教育カリキュラムとなっている。</p>

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	古橋 一人
--------	------------	-------	-------

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	建学の精神に則り各法令に従い教育目標の達成をめざし教育課程の編成を行う。	教育課程表の作成とシラバスの作成等を行っている。	社会のニーズに適応した教育設定が課題である。	生徒便覧 シラバス（学科編・実習編）
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育到達レベルについては、シラバスで明記する。	学生に対し各期の各授業科目の第1回目にシラバスを用いて説明している。	社会の現状や変化を踏まえ内容が妥当であるかの検討が必要である。	シラバス（学科編・実習編）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の理念に沿った教育課程表やシラバスを作成し、実践しているが、教育目標・教育到達レベルの設定については、すべての科目とも社会の変化に対応するために、ある一定の期間をおいて常にその内容を検討する必要がある。	本校の特徴としては、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師を養成するにあたり、座学に偏った教育内容にならない様、実習教育にも重点を置いている。また臨床実習についても力を注いでいる。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	古橋 一人
--------	------------------	-------	-------

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	あはき認定規則に従うと共に本校の教育目標に沿った編成を行う。	あはき認定規則と比較して、それより多くの教育内容が盛り込まれている。	各教科間で連携をはかることが課題である。	生徒便覧
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	各業界団体と(公社)東洋療法学校協会との連携を図り意見を反映させている。	(公社)東洋療法学校協会主催の行事等に積極的に参加・協力し意見交換を行っている。	業界団体の意見を取り入れ、より良い教育課程表を作成する必要がある。	—
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	教育課程全体が職業教育となっており、あん摩マッサージ指圧はりきゅうの実践教育を見据えた教育内容を行う。	あはき臨床実習の教育を複数単位(3単位)実施している。	業界のニーズに合った実習が出来ているかが課題である。	臨床実習入門
3-9-4 授業評価を実施しているか	平成 28 年度には学生による授業評価を実施する。	—	—	—

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校のあはき教育にあたり、あはき認定規則に従い本校の特色を生かし社会のニーズに照らし合わせ教育環境を整備する。	本校は、あはき業界を常に意識し、社会のニーズに応え、業界をリードする人材の輩出を目的とした教育を実践する。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	古橋 一人
--------	------------------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	生徒便覧に成績評価・進級判定及び卒業について明記している。	成績評価は指導教員、進級判定及び卒業については、教員会議において校長が判定する。	－	生徒便覧 シラバス（学科編・実習編）
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	校内研究発表大会や東洋療法学校協会主催の学術大会に参加、成果を発表させる。	教育課程表の課題研究Ⅰ・Ⅱに基づき指導教官の下、研究を行っている。	指導教員のさらなる質の向上が必要である。	生徒便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価と作品及び技術などの発表においては、一定の成果をあげている。	進級、卒業については入学時のオリエンテーションで丁寧に説明している。又、卒業後専門学会に参加できるよう課題研究を行っている。

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	古橋 一人
--------	------------	-------	-------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	取得免許別に細則で科目を設定し実施する。	免許取得に必要な科目については全て教育課程表に定めている。又、免許取得に関連する国家試験対策授業等の特別講座も開設している。	—	生徒便覧 教員会議議事録
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	国家試験対策検討委員会を設置している。	国家試験対策検討委員会で検討した内容を国家試験対策授業等に反映させている。又、不合格者については既卒者補講を開設している。	学力別の少人数によるグループ学習を検討する必要がある。	組織図及び職務分掌図 教員会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
近年、学生の学力低下がみられ、きめ細やかな講義が必要となっている。又、国家試験に実技試験が免除されているため学内での実技試験に力を注いでいる。	あはきの免許取得には、各国家試験の合格と免許の申請が必要条件となる。本校の特徴としては、国家試験の合格は当然で、さらに、技術的にも有能な業界のニーズに合った人材の輩出等があげられる。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	古橋 一人
--------	------------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	学校養成施設認定規則及びガイドラインに照らし合わせて確保する。	教員・講師採用時には、免許証の原本を確認し、その写しを保管している。	—	教員講師契約書綴り
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	学内外での教員研修会や学会等に積極的に参加する。	(公社)東洋療法学校協会主催の教員研修会・(公社)全日本鍼灸学会学術大会等へ参加している。	講師の参加を促す必要がある。	出張(研修)報告書 研修予定一覧表
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	職務分掌図を作成し責任者を各部門で明確に定める。	検討委員会を設置し、定期的に会議を実施している。又、各期ごとに打合せ会を実施し講師との連携を行っている。	各教員の校務内容が年度毎に変更され、内容を把握するのに時間がかかることが課題である。	組織図及び職務分掌図 実技打合せ会議事録 学科打合せ会議事録

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教員確保と資質向上及び組織体制についてはおおよそ目標が達成されている。	科目で教員資格要件が異なるが、各種の学会等に参加し専門性を高めている。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	古橋 一人
--------	------------------	-------	-------

基準 3 教育活動（柔道整復科）

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は「柔道整復師法施行令」「柔道整復師学校養成施設指定規則」に基づいて教育活動を行っている。</p> <p>本校の教育理念、教育目標は、人間としての人格の完成をめざす。施術者として勉学に励み技術向上に努める。社会性のある施術者の育成である。</p> <p>教育方法・評価については、カリキュラムに基づいて授業計画表を作成し到達レベル・成績評価・認定基準を明確化し、運用する。</p> <p>最終目標である資格・免許取得の指導体制を充実させる。</p> <p>教員の資質向上を目指し研修会、学会等に参加、発表して常に教員の資質向上を図る。</p>	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	葛谷 壽彦
--------	------------------	-------	-------

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	建学の精神に則り各法令に従い教育目標をめざし教育課程の編成を行う。	教育課程表の作成と専門科目講義概要の作成等を行っている。	社会のニーズに適応した教育設定が課題であり、卒業生との連携した取り組みが必要である。	生徒便覧 講義概要・専門科目講義概要
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育到達レベルについては、専門科目講義概要で明記する。	専門科目講義概要に記載している到達目標に達しているか担当教員が確認し、常に見直しを行っている。	社会のニーズに答える教育を進めたい。	生徒便覧 講義概要・専門科目講義概要

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の柔道整復教育にあたり、柔道整復師学校養成施設指定規則に従い本校の特色を生かし社会のニーズに照らし合わせ教育環境を整備する。本校の理念に沿った教育課程の編成方針、実施方針を行い各科目ごとの教育到達レベルを設定している。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	葛谷 壽彦
--------	------------------	-------	-------

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	指定規則に準じて行い、本校の教育目標に沿った形で行う。	教育課程表に沿って実施している。	教科間における教員の意志の疎通を図り、授業進度の調整を行い、体系的に編成を行う必要がある。	生徒便覧 講義概要・専門科目講義概要
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	各業界団体と(公社)柔道整復学校協会との連携を図り意見を反映させている。	(公社)柔道整復学校協会主催の行事等に積極的に参加・協力し意見交換を行っている。	業界団体の意見を取り入れ、より良い教育課程表を作成する必要がある。	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	教育課程全体が職業教育となっており、柔道整復師の実践教育を見据えた教育内容を行う。	講師を多く招聘し、専門科目を充実させている。	業界のニーズに合った実習が出来ているかが課題である	
3-9-4 授業評価を実施しているか	平成 28 年度には学生による授業評価を実施する。		評価に対する会議を行っていきたい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の柔道整復教育にあたり、柔道整復指定規則に従い本校の特色を生かし社会のニーズに照らし合わせ教育環境を整備する。	本校は、柔道整復業界を常に意識し、社会のニーズに応え、業界をリードする人材の輩出を目的とした教育を実践する。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	葛谷 壽彦
--------	------------------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価、終了認定基準を明確にし事前に学生に提示する。	学科試験、実技試験により成績評価を行っている。一定の評価以上、規定の出席を満たしている者に単位が認められる。	同じ科目でも担当教員の評価が違うので統一した評価が必要。	生徒便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	研究等の発表を校内又は校外の学会等で発表していく。	取り組みはまだしていないが研究等は取り組んでいきたい。	研究をカリキュラムに取り入れて発表していきたい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価においては、一定の成果をあげている。	進級、卒業については入学時のオリエンテーションで丁寧に説明している。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	葛谷 壽彦
--------	------------------	-------	-------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	柔道整復師学校養成施設指定規則及びガイドラインに基づいたカリキュラムとなっている。	カリキュラム以外に、免許取得に関連する国家試験対策授業等の正規外授業を実施している。	特色のある内容を充実させる必要がある。	生徒便覧
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	国家試験対策検討委員会を設置している。	定期的に2・3年生については実力試験、模擬試験等を実施し学生個々の学力に応じた指導をしている。	学力不足の学生に対する補講等を充実させる。	組織図及び職務分掌図 教員会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
近年、学生の学力低下がみられ、きめ細やかな講義が必要となっている。	学生に対しては、全学年、カリキュラム以外に補講を実施している。なお対象者は各期の成績を基に学力不足と判断した学生としている。又、国家試験不合格者に対しても既卒者補講を開設している。

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	葛谷 壽彦
--------	------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	学校養成施設指定規則及びガイドラインに照らし合わせて確保する。	教員・講師採用時には、免許証の原本を確認し、その写しを保管している。	—	教員講師契約書綴り
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	研修会、学会等に参加し教員の資質向上を目指す。	研修会、学会に参加し定期的に参加し資質向上への取組みを行っている。	研修会、学会に参加した教員による伝達講習会等が必要。	出張（研修）報告書 研修予定一覧表
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	職務分掌図を作成し責任者を各部門で明確に定める。	教員一人一人に役割分担させ責任を持って行っていく。	各教員の校務内容が年度毎に変更され、内容を把握するのに時間がかかることが課題である。	組織図及び職務分掌図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
柔道整復師学校養成施設指定規則に基づいて教員を採用している。また教員については各種学会等に発表や参加をし、資質の向上をめざしている。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	葛谷 壽彦
--------	------------------	-------	-------

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校での学修成果目標は、国家試験合格と就職率の向上である。 国家試験合格率は、例年概ね全国平均を上回っている。 就職率について、就職希望者は100%の就職率を目指し、キャリアセンターを設けて求人票の閲覧、各種就職説明会、勉強会等開催など就職情報の開示を行っている。また企業の就職採用者に来校いただき、企業説明会を開催している。 就職が年度末の3月までに決まっていない学生に対しては、“就職未決定者に対する就職相談会”を行いフォローしている。</p>	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	吉野 真二
--------	------------------	-------	-------

4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職希望者については、就職率100%を目標としている。	全学生に対して「企業説明会」を実施している。また個別に就職担当者に相談に来る学生に対して就職内定まで支援を行っている。	求人件数は非常に多く、学生にとっては売り手市場となっている。就職先を確保することが容易となってきた現状があるため、就職活動を始めるのが遅いのが課題である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>かつては学生の将来的な目標が開業であったため、企業等への就職という選択肢があまりないことが多かった。しかし近年は就職希望者が増えてきているため、求人先の確保に務めている。その取組みの一つとして「企業説明会」を毎年開催している。</p> <p>また、求人件数は非常に多く、その求人票の多くは業界で活躍している卒業生によるものである。</p>	

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	吉野 真二
--------	------------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家試験合格率 100%を目標としている。	国家試験合格率は例年概ね全国平均を上回っている。	国家試験合格率 100%を目標とするためには、学力が及ばない学生に対しての指導体制を充実させる必要がある。	国家試験学校別合格一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
国家試験合格率は例年概ね全国平均より上回っているが、学力が及ばず不合格になる学生もおり、今後はこのような学生に対してより一層の指導体制の充実を図る必要があると考えられる。また、既卒の国家試験不合格者へのバックアップ体制も強化していく必要がある。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	吉野 真二
--------	------------------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の動向については同窓会と業界団体と連携し把握する。	本校卒業生からの在校生への求人状況などから一部の卒業生の開業状況は把握できている。 また、業界団体の役員名簿により、その動向はほぼ把握できている。	業界を離れていく卒業生の把握が困難である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校卒業生は業界でも高い評価を受けている。卒業生・在校生のさらなる活躍ができる環境作りを積極的に行い、業界に貢献できる人材をより多く輩出したい。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	吉野 真二
--------	------------------	-------	-------

基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援の中で、本校では特に就職に関する支援と学費等経済的な相談に対する支援に力を注いでいる。</p> <p>就職支援では、キャリアセンターを設けて就職に関する各種情報を集め在校生及び卒業生に開放している。</p> <p>就職係を担当する教職員が常に窓口となり、個別で相談にあたっている。</p> <p>また、経済的負担により志の高い学生においても、退学に追い込まれるケースも少なくない。このような場合においても学費に関する相談を行っている。</p> <p>奨学金、学資ローン、学納金の延納措置等を行い医療人として活躍できる支援体制を整えている。</p> <p>在校生の保護者による後援会や卒業生による同窓会を組織し、様々な活動や支援を行っている。</p>	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	吉野 真二
--------	------------------	-------	-------

5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	教員と事務職で就職係を設置し、多くの求人を確保するとともに就職希望者全員の就職をめざしている。	就職係り担当者がアルバイトや就職について相談に応じている。 また企業説明会を開催している。これには3年生だけではなく1・2年生にも参加を促し、就職の情報収集に役立てている。	国家試験合格が最優先となっているため、就職活動が疎かになっている学生がいる。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高校現役入学生が多く、就職活動の仕方を理解していない学生が多いため、就職支援は、個別対応を基本にしている。学生支援の中でも就職に関しては最重要課題として扱っており、その対応が出来ている。	

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	吉野 真二
--------	------------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	クラス担任と学生と面談を重ね、退学者の低減を図る。	担任は該当学生と面談し、さらに保護者等関係者との面談を重ねている。	家庭の事情等やむを得ない退学者は別として、学力不足の学生に対しては補講や勉強の仕方等の指導を行っている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率 0%を目標として、教職員は学生と常にコミュニケーションを取るなど学生支援体制を整えている。また退学者に関する情報は学内において共有し対応している。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	吉野 真二
--------	------------------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	教職員が密接に連携して、学生に対応している。	学生相談室を設けて、個々に教職員が相談に対応している。	学生の相談内容に的確に対応できるカウンセラーの常駐化が求められる。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	必要に応じて、留学生に対する学生相談体制を整備する。	過年度において、留学生は在籍していないため特に相談体制は整備していない。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高校現役入学生から壮年まで年齢幅があり相談を受ける内容も多岐にわたっているため教職員での対応にも限界があり、常駐できるカウンセラーが求められる。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	吉野 真二
--------	------------------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学生の生活面でのサポートのため、国の奨学金制度および学資ローンなどを紹介している。	日本学生支援機構の奨学金及び日本政策金融公庫の学資ローンを必要に応じて紹介している。	奨学金制度を利用する学生が年々多くなってきているが、手続き等を期限内に完了しない学生が増えている。	
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	1年に1度全学年を対象に健康診断を実施する。	全学年を対象に校医による健康診断を実施している。		
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	学生寮は設置していないが、業者と提携し、マンション・アパート等の斡旋をしている	斡旋業者と提携し、紹介業務を行っている。		
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	サークル活動、課外活動に対する支援体制を充実する。	ボランティア活動などの費用面は本校が負担している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
奨学金制度や学資ローンを利用している学生が多くみられる。 また医療人になるための志の高い学生の退学を防ぐために、学費の延納制度を設けている。	

5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	在校生の保護者を会員とする後援会を組織し、学校の情報を提供している。また個別に対応する必要がある学生に対しては保護者と密接に連携をとるようにする。	後援会総会と役員会を年2回開催している。また保護者との連絡は教職員による電話や文書により密に連絡を取り合っている。	中高年や妻帯者に対する保護者の取扱いが課題である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者との連携を密にしている。ただ中高年や妻帯者に対する対応に困惑することがあるが教職員一丸となって取り組んでいる。	

最終更新日付

平成 29 年 2 月 12 日

記載責任者

吉野 真二

5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会を組織し、教職員もその会議に参加し活動する。また卒業生の再就職に対しては就職係がその対応に充たる。	「中和医療専門学校同窓会」は組織的に学園の活動を支えている。学園誌「中和だより」を刊行し、学園で行われている現状を同窓生へ発信している。	約 6,000 名の卒業生の住所はある程度、把握しているが、現在の活動状況を把握するのは困難である。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	必要に応じて、企業と連携し再教育プログラムの開発を実施する。			
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人経験者の入学に際し、入学前に履修した単位の取扱について生徒便覧に定めている。	大学、他の専門学校で履修した科目について単位認定を行っている。		単位認定申請書綴り 生徒便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
開校時から同窓会を組織し、卒業生へ支援を行っている。 また業界や学会等で活躍する卒業生を数多くの輩出してきている。 今後も様々な団体を通して卒業生と連携することが重要になってくると考える。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	吉野 真二
--------	------------------	-------	-------

基準6 教育環境（あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう科、はり・きゅう科）

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設設備は、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校教育施設認定規則に基づき、実習室、講義室を配置し、実習用具、模型等教育に必要なものを整備している。また、教育上必要な備品は、毎年度の予算計画において修繕及び更新し、その充実に努めている。</p> <p>図書室に置かれている本は、専門書などをはじめ人体に関する書物や絶版本も含め、総数 5,000 冊以上の蔵書を有している。学生の利用に際して、週 2 回の一定時間開放し、貸出を行っている。また、図書閲覧室は自習の場として活用している。</p> <p>学生の自主的な勉強の場ともなるよう、売店（自販機）や食堂並びに休憩スペースとして学生ラウンジを設けている。</p> <p>建物の維持管理は、普通教室は学生が自主的に行い、その他については、清掃業者に委託し、美観が損なわれないようしている。また、施設設備の管理体制は、教職員が快適な環境を学生に提供できるよう努めている。</p> <p>学生主体の学園祭は学生による実行委員と教職員の実行委員による実行委員会を立ち上げ、3年に一度学園祭を開催し、本校ホームページや中和だより（年 1 回発行）、学校説明会、近隣へのチラシにて、卒業生や近隣住民などにお知らせをし、地域に密着した行事を行っている。</p>	<p>60 周年施設整備事業の校舎の建て替えが平成 27 年 11 月に完了した。これにより学生にとって快適な環境が整備された。</p>

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	吉田 和生
--------	------------------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	法令に基づいた整備を適宜行うとともに、教育上快適な環境の維持向上に努める。	60周年施設整備事業の校舎の建て替えが終了した。	計画に基づいて適正に履行していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
60周年施設整備事業の校舎の建て替えが平成27年11月に完了した。これにより学生にとって快適な環境が整備された。	

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	吉田 和生
--------	------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	法令上、学校附属治療所で臨床実習を行い、臨床教育の体制を確保し、患者様に向かう姿勢や専門知識・技術の修得に取り組んでいく。	附属治療所内で学生一人あたり年間 70 人程の患者様に指導教員のもと施術を行っている。さらに、校外でのボランティア活動や老人会の治療奉仕を通じ、より多くの臨床の場を提供するとともに、地域に貢献している。	学科ごとに患者の確保にバラツキがあり、年間を通して一定の患者を確保できるように努める。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
附属治療所での施術を中心として、体験実習を数多く行っている。今後、さらに充実させ、患者への対応力やコミュニケーション能力などを身に付け、将来必要となる技能知識の教育に努めている。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	吉田 和生
--------	------------------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	火災・震災、その他の災害による人的・物的被害を軽減するよう努める。 大規模災害発生時に備え、帰宅困難な学生・教職員のための対策をとる。	防災管理者を設け対応している。また、定期的な避難訓練（年1回）と消防設備点検（年1回）を行っている。 災害発生時の帰宅困難に備え、100名分の食料・飲料水を常時確保している。	防災管理規定を設ける必要がある。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	通学時における事故についてその対応に備えておく。 実習及びボランティア活動における医療事故が起きないように努める。 校内安全管理として防犯システムを導入している。	傷害保険に教員・学生全員が加入している。 防犯システムに関し、職員室・事務室内の夜間セキュリティは行われている。また敷地内には監視カメラを備え管理している。	実習におけるヒヤリ・ハットが起きた場合のマニュアルはあるが、学校生活全般に及ぶ学校安全計画書の策定が必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令上、防火避難訓練が年1回行われているが、実際に災害が起こった時の連絡体制、安否確認方法、保護者への連絡等のマニュアル書の作成が必要である。</p> <p>また、教員・学生全員を含め傷害保険に加入し、傷害発生後の対応はしている。しかし傷害発生前の学生の安全確保や対策について、学校安全計画書の策定が必要である。</p>	

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	吉田 和生
--------	------------	-------	-------

基準 6 教育環境（柔道整復科）

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>柔道整復師学校養成施設指定規則に則った講義室、実習室を配置し、実習用具、模型、教育に必要な機器も十分に備えている。</p> <p>さらに平成 27 年秋に 60 周年施設整備事業が完了したことにより新しい売店・食堂、約 100 席の休憩席および休憩スペースを確保することによって学生の教育環境は格段に改善された。また従来より約 5,000 冊の蔵書の書庫、図書閲覧室を併設しているため学習環境はさらに向上した。</p> <p>これらの教育環境の充実により衛生環境の維持・管理については清掃員の増加と学生による日常清掃と定期清掃で美観的維持に努めている。</p> <p>今後は施設の長期利用のためのメンテナンス計画策定や管理台帳を適正に整備する必要がある。</p>	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	楠本 高紀
--------	------------------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	法令に基づいた整備を適宜行うとともに、教育上快適な環境の維持に努める。	教育に支障がでないよう、適切な管理を実施している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
清掃、施設設備の管理については、外部業者と委託契約を交わし、常時、教育に支障がないようにしている。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	楠本 高紀
--------	------------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習、インターンシップについて、外部の関係機関と連携し、遂行する。	施術所や介護施設への見学実習やスポーツトレーナー活動として大学や各種ボランティアへ参加できる機会を設け、規則以上の教育体制を確保している。	柔道整復科の学生が見学できる外傷を扱う医院見学施設の確保。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校内での教育とは違った研修を実施することにより、医療人としての態度、心構え等を修得している。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	楠本 高紀
--------	------------------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	校長を頂点とした防災体制を整え、火災・震災その他の災害発生時には速やか対応を実施する。	防災管理者を設け対応している。 災害が発生したとき帰宅困難となった学生を想定して100名分の食事と飲料水を常時確保している。	規則、規程等に基づくマニュアル書の作成が必要である。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学内では教職員の管理が行き届くように常に配慮している。	傷害保険に教員・学生全員が加入している。 学生の生命と学校財産を加害者から守るために監視カメラの設置と外部委託業者と契約を交わしている。	学校安全計画書の策定が必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>消防訓練を定期的実施しているが、連絡体制、安否確認方法などのマニュアル書の作成が必要である。</p> <p>また教員・学生全員を含めた傷害保険に加入する等により学生の安全性の確保に努めているが、学校安全計画書の策定が必要である。</p>	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	楠本 高紀
--------	------------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生募集については入試等検討委員会の検討により入試、学校案内、広報活動等を展開している。高等学校等の接続する教育機関に対しては学校案内を提供したり、進学説明会に積極的に参加している。また、高等学校の進路指導担当教職員に対し本校の教育内容や取得を目指す資格の説明を行っている。学校案内やオープンキャンパスは在校生や卒業生に協力してもらい在学中の様子や卒業後の進路についてイメージしてもらえるようにしている。 ・ 入学選考については入試等検討委員会によって各評価基準が明確に定められている。また合否判定については合否判定委員が、定められた評価基準により判定会議によって選考している。 ・ 学納金は諸状況を鑑み、理事会にて決定される。本校で必要な費用は学生募集要項に記載しており、入学後の出費の不安を軽減するよう配慮している。また入学辞退者に対する授業料の返還については学生募集要項に明示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生募集に関してはホームページや学校案内で学生募集に関する情報を提供すると共にオープンキャンパス開催や高等学校の進路指導担当者等に説明を行う等、書面では伝わりにくい情報を直接伝えられるよう心掛けている。在校生や卒業生に協力してもらうことで在学中の様子や卒業後の進路についてイメージしてもらえるようにしている。 ・ 入学選考では合否判定会議を実施する合否判定委員会は、試験ごとに校長が任命する。合否判定委員は面接試験を担当した面接官が含まれ、学科試験・作文試験の結果と共に選考する。入試日程ごとに試験合格者の数等の情報を共有し、授業で使用する教室の選定、教材の準備などに活用している。 ・ 学納金に関しては、入学希望者に対しオープンキャンパスや進路相談会においても学納金について説明するようしており、誤解のないよう周知を行っている。また、奨学金などの制度に関する相談にも随時対応している。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	平野 良彦
--------	------------------	-------	-------

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	広報担当部署を中心に本校の教育内容や特徴を高等学校等に情報提供している。	学校案内を提供したり、高等学校等における進学説明会に積極的に参加している。また、高等学校の進路指導担当教職員に対し本校の教育内容や取得を目指す資格の説明を行っている。	高等学校等での認知度がまだまだ不十分である。取得可能な資格や業界について等認知度向上に努める。	学校案内 高等学校進路指導担当教員向け説明資料
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	入試等検討委員会のもと適切に行っている。	入試等検討委員会を設置しその検討結果を踏まえ募集活動を行っている。入学後のミスマッチを防ぐ為オープンキャンパスを複数回実施し、参加者が在校生や教員に実際の学校の様子を聞いてもらえる環境を提供している。オープンキャンパスの日程に参加できない希望者には実際の授業の見学や教員との個別相談も行っている。	高校生・社会人など志望者の年齢や背景が異なるため、単独の媒体やイベントでは志望者のニーズを汲みきれないケースが発生している。誰にでもわかりやすく誤解のない募集活動に平行して、各ニーズにあった情報発信を展開していく必要がある。	学生募集要項 学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入試等検討委員会の検討により入試、学校案内、広報活動等を展開している。	ホームページや学校案内で学生募集に関する情報を提供すると共にオープンキャンパス開催や高等学校の進路指導担当者等に説明を行う等、書面では伝わりにくい情報を直接伝えられるよう心掛けている。 在校生や卒業生に協力してもらうことで在学中の様子や卒業後の進路についてイメージしてもらえるようにしている。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	平野 良彦
--------	------------------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準は入試等検討委員会によって各評価基準が明確に定められている。	校長が試験ごとに合否判定委員を任命し判定会議によって選考している。	特になし	作文評価基準 面接考査採点表
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入試等検討委員会が把握し、各部署の業務に必要な指示を出している。	試験合格者の数等、複数回ある入試ごとの情報を共有し、授業で使用する教室の選定、教材の準備などに活用している。	広報関係や授業担当者など、担当部署によって必要な情報は異なる。また定型的な情報共有の為、新たな情報を活用することや必要な情報の共有が不十分である事も想定される。各担当者が適切な情報共有を心掛けるよう努める。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入試等検討委員会を中心に入学選考を実施している。合否判定は、合否判定委員会にて公正かつ適切な選考を行っている。	合否判定会議を実施する合否判定委員会は、試験ごとに校長が任命する。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	平野 良彦
--------	------------------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金は諸状況を鑑み、理事会にて決定される。本校で必要な費用は学生募集要項に記載しており、別途徴収することのないよう配慮している。	学生募集要項に記載される授業料に教科書・教材費も含まれる為、学生が在学中の経費を把握しやすくしている。	特になし	学生募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者に対する授業料の返還については学生募集要項に明示している。	辞退者からの申し出を受け次第、授業料返還が円滑に行えるよう体制を整えている。	特になし	学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学希望者にとってわかりやすい情報提供を行っている。教科書や教材費用を授業料に組み込み 3 年間に必要な金額を明示することによって入学後の出費の不安を軽減している。	オープンキャンパスや進路相談会においても学納金について説明するようしており、誤解のないよう周知を行っている。また、奨学金などの制度に関する相談にも対応している。

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	平野 良彦
--------	------------------	-------	-------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中長期計画に基づく堅実な学校経営により平成 27 年 8 月に新校舎が完成するに至ったが、新校舎建設の追加費用や年度によって新入生の定員確保が出来ていない現状は財務がやや安定しているとはいえない状況である。そのため、健全な財務状況を維持できるよう努めたい。</p> <p>予算・収支計画は事業計画をもとに予算を作成している。近年は新入生の減少により収支の均衡がやや不安定であるため、経費削減に努めた予算を作成する必要がある。また、中長期計画については単純予測的なものではなく施策の明確化を計り、より具体的な計画の作成をすることが財務基盤の安定化につながると考える。</p> <p>会計監査については適切に行われている。</p> <p>一般公開するための財務情報公開規定及び体制の整備に取り組む必要がある。</p>	<p>平成 27 年 11 月に 60 周年施設整備事業が完了した。</p> <p>平成 28 年度から学校法人会計基準の改正により会計処理及び計算書類の変更など対応が必要である。</p>

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	鈴木 映憲
--------	------------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	中長期的な財務基盤の安定を第一に考え事業計画を立てている。	新校舎建設により資金が大幅に減少した。そのため経費削減に一層努めている。	安定的な新入生確保と更なる経費削減に努め、財務基盤の安定を計りたい。	平成 27 年度決算報告書
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	主要な財務数値に関する財務分析を行いその推移を把握する。	主要な財務数値を把握し財務分析を把握している。	全体的、個別的な経営分析が出来るよう精度を上げる。	平成 27 年度決算報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>新校舎建設による資金減少のため綿密な中長期計画を作成し、財務基盤の安定に取り組まなければならない。</p> <p>全教職員が財務状況について把握し、経費削減に努める必要がある。</p>	60 周年施設整備事業

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	鈴木 映憲
--------	------------------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	目標、目的に沿った年度予算、中期計画を作成している。	事業計画に基づき年度予算、中期計画を精査し作成している。	教職員への詳細な財務情報を開示し、計画性を高める必要がある。	平成 27 年度決算報告書 平成 28 年度予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算は計画に基づき適切に執行する。	計画的かつ適切に執行されている。	予算管理の把握を徹底する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
事業計画に基づき単年度、中期計画を作成しているがより計画性を高める必要がある。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	鈴木 映憲
--------	------------------	-------	-------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	会計監査について適正に実施する。	監事には理事会に出席して頂き、財務について指導を受けている。	指摘を受けた事項については速やかに改善している。	監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計監査は適切に行われており、監事による会計監査を受けている。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	鈴木 映憲
--------	------------------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に基づく財務情報公開を適切に実施する。	私立学校法に基づく財務情報公開を実施している。	一般公開へ向けての体制作り。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
利害関係者のみの公開となっているが、ホームページに掲載するなど一般公開できる体制を整えたい。	

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	鈴木 映憲
--------	------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、専修学校として学校教育法、専修学校設置基準、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師の養成施設として、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律、柔道整復師に関する法律、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師に関わる学校養成施設認定規則、同指導要領、柔道整復師養成施設指定規則、同指導要領等に基づき教育活動を行っている。</p> <p>それらの法令を遵守することは、当然に学校として必要なことであり、承認申請や届出等の手続きも滞りなく行わなければならない。適正な学校運営、教育活動を行っていく上においても必要不可欠なものである。</p> <p>個人情報・特定個人情報の保護についても規程をつくり、管理に十分な配慮を行う必要がある。全ての教職員が十分な配慮のもと適正な取扱いをするよう周知徹底をしている。</p> <p>自己点検・自己評価、学校関係者評価及び報告書の公表に関しては、取り組みを始めたところである。</p>	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	森 輝久
--------	------------------	-------	------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	法令や専修学校設置基準等に基づいた学校運営を行う。	あはき師養成施設認定規則、柔道整復師養成施設指定規則の設置基準や、学校教育法、私立学校法等の専修学校の設置基準などを満たし、変更等の申請事項、届出事項が発生した場合は速やかに申請・届出を行っている。	実務的な法令遵守はできているが、教職員や学生に対する法令遵守の啓発活動は充分と言えない状態であり、これらの啓発活動を今後、行っていく必要がある。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令や専修学校設置基準等に基づいた学校運営は行えているが、教職員や学生に対する法令遵守の啓発活動は充分と言えない。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	森 輝久
--------	------------------	-------	------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護法、特定個人情報保護法等を遵守し、保護体制を整える。	個人情報保護法等に基づき、個人情報管理規定等の規程整備を行い、情報漏えいが起きないように、体制を整えている。 パソコンには、パスワードを設定し、担当者以外が使用出来ないようにしている。 教職員に対して、個人情報の取扱いについて十分に注意するよう指導している。	非常勤講師は試験の採点等を自宅で行うことがあり、完全に個人情報保護ができているとは言えないものもある。	個人情報保護方針 個人情報管理規定 個人情報取扱規程 特定個人情報に関する基本方針・取扱規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令に基づいて、規程をつくり、適切に管理を行っている。 しかし、試験の採点等において完全とは言えないものがある。 センシティブ情報に関しては十分な管理が行われている。	

最終更新日付

平成 29 年 2 月 12 日

記載責任者

森 輝久

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己点検・評価を実施するための規程を整備し、実施していく。	規程の整備は完成している。現在実施をしている。	自己点検・自己評価についての学内の研修を更に行う必要がある。	学校関係者評価委員会規程
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	今後、自己評価結果を公表する。	自己評価結果の公表に向け準備中である。		学校関係者評価委員会規程 学校評価実施要項
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	今後、学校関係者評価を行っていく。	学校関係者評価実施に向け準備中である。		学校関係者評価委員会規程 学校評価実施要項
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	今後、学校関係者評価結果を公表していく。	学校関係者評価結果公表に向けて準備中である。		学校関係者評価委員会規程 学校評価実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価、学校関係者評価を実施し、公表に向けて準備中である。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	森 輝久
--------	------------------	-------	------

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	今後、教育活動等に関する情報公開を行っていく。	教育活動等に関する情報の公開に向けて準備中である。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報の公開に向けて準備中である。	

最終更新日付	平成29年2月12日	記載責任者	森 輝久
--------	------------	-------	------

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>社会貢献・地域貢献としては本校舎の会場貸し、各種ボランティア活動を行っている。</p> <p>本校舎の会場貸しは規程を設定しており、それに準拠して営利目的ではない関係団体や卒業生が企画するセミナーについて行っている。</p> <p>各種ボランティア活動は外部から委託される場合が殆どであり平成 27 年度は 12 の大会に教員引率のもと学生を参加させた。</p> <p>なお本校における現状の地域貢献は限定的と思われるため今後の学園の進むべき方向性を見定めつつ検討していく必要がある。</p>	<p>本校舎の会場貸しで大規模なものとして、愛知県私立高等学校教職員連盟、私学をよくする愛知父母懇談会主催の「輝良ッ都フェスティバル in 稲沢」がある。この企画の中には「マッサージ教室」が設営され、本校教員指導のもと在校生による無料マッサージが行われ、大変好評である。さらに平成 27 年度は 60 周年施設整備事業が完了している年度であったため新校舎使用により快適性も向上した。</p>

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	楠本 高紀
--------	------------------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を実施する。	学園施設使用規則に準拠して開放している。具体的には私学をよくする愛知父母懇談会が主催のフェスティバル、関係団体及び卒業生が企画するセミナー等である。	施設利用の希望が増えているが学校行事の増加に伴い、十分な対応ができていない場面が増えてきている。	
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか		諸外国の学校との連携は行っていない。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
営利目的ではない関係団体や卒業生が企画するセミナーについて会場貸しを行って社会貢献を行っている。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	楠本 高紀
--------	------------------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	積極的な活動支援を行っている。	学外活動として平成 27 年度は地域のマラソン大会等の 12 の大会に教員の引率のもとボランティア活動を行っている。なお参加形態は公募制とし、参加者には交通費等を支援している。	ボランティア活動の増加にともない引率教員の帯同増加が多くなってきているため、公平なシェアが必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各種ボランティア活動は活発的に行っている。	

最終更新日付	平成 29 年 2 月 12 日	記載責任者	楠本 高紀
--------	------------------	-------	-------